

2010年5月31日
三菱電機株式会社

「見る」「録る」「残す」が1台でできる、ハードディスクとブルーレイ搭載の「録画テレビ」
三菱液晶テレビ「REAL」BHRシリーズ新商品発売

三菱電機株式会社は、ハードディスクとブルーレイディスクレコーダーの両方を搭載したオールインワン液晶テレビ「REAL」BHRシリーズの新商品を7月2日から順次発売します。レコーダーを意識させない新デザインの46V型から26V型まで、4機種をラインアップしました。



三菱 液晶テレビ「REAL」BHR400シリーズ

新商品の特長

1. ハードディスクとブルーレイディスクレコーダーの両方を搭載

- ・1台でデジタル放送を「見る」「録る」「残す」ことができるオールインワンモデル
- ・アンテナと電源を接続するだけの簡単配線で、テレビを置く場所だけの省スペース設置
- ・付属のリモコンはわかりやすく見やすいリモコンボタンで、録画予約や再生の操作も簡単

2. レコーダーを意識させないすっきりとした新デザイン

- ・レコーダーを意識させないすっきりとした新デザイン
- ・手前から簡単にディスクが出し入れできる前面ディスクトレイを採用

3. 大画面の46V型からパーソナルユースの26V型までをラインアップ

- ・46V型、40V型、32V型、26V型の4サイズをラインアップ
- ・46V型、40V型ではLEDバックライトを採用し、「DIAMOND Panel」が高画質映像を表示
- ・全機種にリモコンのボタン操作でテレビ画面が振り向く「オートターン」を搭載

発売の概要

商品名	形名	型	希望小売価格	発売日	当初月産台数
ハードディスク内蔵ブルーレイディスクレコーダー搭載 液晶テレビ「REAL」	LCD-46BHR400	46V型	オープン	7月2日	3,000台
	LCD-40BHR400	40V型			6,000台
	LCD-32BHR400	32V型		7月29日	12,000台
	LCD-26BHR400	26V型			8,000台

報道関係からの
お問い合わせ先

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 電話 03-3218-2359 FAX03-3218-2431
三菱電機株式会社 広報部

発売の狙い

2009年度の液晶テレビ市場は前年度比約160%と大幅に伸長し、2010年度もエコポイント制度の継続や2011年アナログ停波前の買い替えや買い増しで大きな需要が見込まれ、引き続き好調に推移すると予測されます。

当社が2009年10月に世界で初めて発売したハードディスクとブルーレイディスクレコーダー搭載の液晶テレビ「REAL」BHRシリーズは、テレビと録画機器を接続する手間が不要で、デジタル放送の録画・再生が手軽に行える点が大変好評をいただいています。今回、テレビとレコーダーとの一体感を増した新デザインの4機種を市場投入することで、ラインアップを拡充します。

特長の詳細

1. ハードディスクとブルーレイディスクレコーダーの両方を搭載

1台でデジタル放送を「見る」「録る」「残す」ことができるオールインワンモデルの液晶テレビで、市販やレンタルのブルーレイソフトも再生できます。テレビとレコーダーとを接続する手間も不要で、設置はテレビを置く場所のみの省スペースです。

また、付属のリモコンは一目でわかりやすく大きなリモコンボタンで、録画予約や再生の操作も簡単に行えます。

2. レコーダーを意識させないすっきりとした新デザイン

テレビのディスプレイ部分にディスクトレイを融合させた新デザインの採用により、テレビとレコーダーとの一体感を向上しました。ディスクトレイは前面に配置しているため、ディスクの出し入れを手前から簡単に行うことができます。

3. 大画面の46V型からパーソナルユースの26V型までをラインアップ

(1) ラインアップ

46V型、40V型、32V型、26V型の4サイズをラインアップしました。46V型、40V型ではLEDバックライトと光沢処理を施した液晶パネル「DIAMOND Panel」を採用し、深みと奥行きのある艶やかな色再現により、被写体の持つ質感をより忠実に表示します。

(2) 全機種に「オートターン」機能を搭載

また、リモコンのボタン操作でテレビ画面が振り向く「オートターン」機能^{※1}を全機種に搭載しました。正面のベストポジションで映像と音を楽しむことができます。斜めから見た際に色抜けして映像が見にくいという視野角による現象も補うことができるほか、テレビ画面の向きを変えるためにわざわざ自分が動かなければならないという煩わしさもありません。

※1 46V型、40V型：左右各約20度ずつ、32V型、26V型：左右各約30度ずつ

その他の特長

1. ブルーレイディスクとハードディスク、記録型DVDへの長時間フルハイビジョン記録が可能

(1) 長時間フルハイビジョン記録

圧縮効率の高い記録方式であるMPEG-4 AVC/H.264映像圧縮方式を採用しました。デジタル放送の映像データを圧縮せずに記録するDRモードに比べ、約8倍^{※2}の長時間フルハイビジョン記録が可能です。これにより、ブルーレイディスク(片面2層：50GB)に約35時間^{※3}フルハイビジョン映像を記録することができます。

(2) 500GB内蔵ハードディスク

内蔵ハードディスクは500GBを搭載しました(従来モデル^{※4}は320GB)。これにより、フルハイビジョン映像を最大約360時間^{※3}長時間録画することができます。

(3) 記録型DVDへのフルハイビジョン記録

記録型DVDへフルハイビジョン映像を記録するために策定されたAVCREC規格に対応しているため、DVD-R/-RW(片面1層、4.7GB)に最大約3時間15分^{※3}、DVD-R DL(片面2層、8.5GB)に最大約6時間^{※3}フルハイビジョン映像を記録することができます。

※2 ハードディスク、ブルーレイディスクに、BS・110度CSデジタルのハイビジョン映像(約24Mbps)を録画モードDR(放送波そのままのビットレート)と録画モードAE(8倍モード)(約3.0Mbps)で記録した場合との比較

※3 録画モード AE(8倍モード)で記録時

※4 従来モデル: LCD-42BHR300, LCD-37BHR300, LCD-32BHR300

2. 1つのリモコンで「見る」「録る」「残す」の操作が簡単にできる、ユニバーサルリモコン

付属のリモコンは、よく使うボタンだけを表面にわかりやすく配置し、使用頻度が少ないボタン群はリモコン上部と下部のフラップ内に配置した2層構造です。このリモコン1つで、録画予約や再生操作など、シンプルな操作手順で簡単に操作することができます。

3. 「効率よく見る」ための当社独自の機能群を搭載

(1) 「オートカット i」^{※5}

内蔵ハードディスクに予約録画した番組の番組部分、または CM 部分だけを自動で再生できます。「オートカット i」で録画した番組の番組部分あるいは CM 部分だけをブルーレイディスクや記録型 DVD に保存することもできます。

(2) 「見どころ再生」^{※6}

内蔵ハードディスクに予約録画したスポーツ番組や音楽番組の見どころだけを自動で再生できます。見どころ部分だけをブルーレイディスクや記録型 DVD に保存することもできます。

(3) 「シーン検索」^{※7}

内蔵ハードディスクに予約録画した番組の再生中に、リモコンの「シーン検索」ボタンを押すと、場面が切り替わるところなどの場面(シーン)が表示されます。見たい場面を選んで「決定」ボタンを押すと、選んだ場面から再生することができます。

※5 機器設定画面で「番組部分用」または「CM 部分用」のどちらかを選択しておく必要があります

※6 機器設定画面で見どころ再生情報を「生成する」を選択しておく必要があります

※7 機器設定画面で、自動チャプターマークの設定を「おすすめ自動」に設定しておく必要があります

4. 生活に役立つ情報や、様々な映像コンテンツをいつでも楽しめる「アクトビラ」対応

デジタルテレビ向けのネットサービスである「アクトビラ」^{※8}に対応しています。ブロードバンド回線に接続することで、生活に役立つ情報や、豊富な映像コンテンツを楽しめます。全画面で迫力のあるハイビジョン映像を視聴できる「アクトビラ ビデオ・フル」に対応するとともに、映画やドラマなど様々な映像コンテンツを内蔵ハードディスクにダウンロードすることで、ダウンロードした映像コンテンツを視聴できる「アクトビラ ビデオ・ダウンロードレンタル」、ブルーレイディスクや記録型 DVD へダビングして楽しむことのできる「アクトビラ ビデオ・ダウンロードセル」にも対応しています。

※8 「アクトビラ」とは、株式会社アクトビラが提供するデジタルテレビ向けネットサービスの総称です。

「アクトビラ」を利用するためには、インターネットのブロードバンド環境(ADSL、FTTH、CATV など)が必要です。「アクトビラ」の利用には、一部の有料サービスを除き料金はかかりません。ただし回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金が別途必要です。

5. 残像感の少ないクリアな映像を再現する「倍速ピクチャー」機能搭載

(1) 「倍速ピクチャー」機能<LCD-46BHR400、LCD-40BHR400 に搭載>

通常では毎秒 60 枚の画像フレームで構成される動画映像を、前後の画像フレームを瞬時に解析して補間フレームを挿入することで、2 倍の毎秒 120 枚の映像で表示します。残像感の少ないクリアな映像を再現します。

(2) 「なめらかピクチャー」機能<LCD-46BHR400、LCD-40BHR400 に搭載>

映画フィルムなど、1 秒あたり 24 枚の映像を不均等なコマ数で 60 枚に割り当てた映像ソースから、元の 24 枚の映像を検出し、120 枚の映像に再構成します。映画フィルムの動きを忠実に再現する「フィルムモード」と、なめらかな動きに補正する「なめらかモード」が選べます。

6. 使う人に合わせた簡単に便利な機能を満載

(1) 「おすすめ音量」機能

番組や DVD ソフトなど、コンテンツ全体の音量感を常に一定の範囲内に自動調整します。

(2) 「おすすめ自動録画」機能^{※9}

録画・再生などの履歴から、ユーザーの傾向や好みを解析し、その傾向や好みに合わせて番組を自動的に録画します。

(3) 「フリーワード検索」機能

番組タイトルや出演者名などのフリーワードを入力すれば、関連する番組を表示します。また、「スポーツ」「音楽」などのキーワードでも番組を検索することができるので、好みの番組を簡単に探せます。

(4) デジタル放送 2 番組同時録画^{※10}

地上波デジタルチューナーと BS・110 度 CS デジタルチューナーを 2 つずつ搭載しているので、2 つのデジタル放送番組を同時に録画できます。

(5) SD カードスロット、USB 端子を装備

SD カードや USB ケーブル接続の入力に対応しています。デジタルカメラなどで撮影した写真をテレビ画面で確認できます。AVCHD 方式で記録されたデジタルビデオカメラの映像も、内蔵ハードディスクにダビングすることで、再生はもちろん、ブルーレイディスクや記録型 DVD に再度ダビングすることもできます。

(6) i.LINK (TS 入力) 端子を装備

CATV 用セットトップボックスからの録画に対応しています。

(7) 「ECO 画質モード」

明るさセンサー^{※11}と視聴者別設定の機能により、視聴者の年代に合わせて画面の内容に適した明るさや色味に自動調整します。

(8) 「声ハッキリ」モード

アナウンサーや人の声が聞き取りやすくなります。

(9) 「報知音」機能

リモコン操作でボタンが押されたことを「報知音」でお知らせします。ボタンの二重押しなどの誤操作を防止できます。

(10) 「らくらく設定」機能

テレビ設置時に行うチャンネル設定などを、問いかけ方式で設定できます。郵便番号や市外局番を入力するだけでデジタル放送、地上アナログ放送のチャンネル設定が完了します。

※9 機器設定画面で、「入（安心型のみ）」、「入（発掘型のみ）」、「入（安心型+発掘型）」からいずれかを選択しておく必要があります

※10 デジタル放送とデジタル放送の 2 番組同時録画が可能です。デジタル放送とアナログ放送の 2 番組同時録画はできません。2 番組同時録画の際は、一方の番組を録画モード DR にしてください

※11 ご家庭の明るさ環境に合わせて、画面の輝度・コントラストを自動調整します

7. 省エネに貢献する商品設計と、「環境リスク物質の排除」に配慮した商品づくり

(1) 省エネに貢献する商品設計

- ・「ECO 画質モード」機能で消費電力をセーブ
- ・無信号時（約 10 分後）電源オートオフ
- ・無操作時（約 3 時間以上）電源オートオフ
- ・明るさセンサーの検知で、部屋の照明が消えて真っ暗になると電源オートオフ
- ・主電源 [切] 時は待機時消費電力をセーブ

(2) 省エネ効果を画面上で確認できる「ECO メーター」「ECO モニター」

- ・「ECO メーター」

現在の概算消費電力や省エネ度がひと目で分かります。「ECO 画質モード」の設定状況を葉っぱのアイコンでお知らせします。

- ・「ECO モニター」^{※12}

現在の省エネ設定と省エネ設定を行わない場合を比較して、電気代や CO₂ の排出量の概算累積削減量を表示します。

(3) J-Moss^{※13}の規定に基づく「グリーンマーク」適応

※12 「ECO 画質モード」時と工場出荷時とを比較したバックライトの消費電力削減量の累積値。実際のテレビ全体の消費電力とは異なります。また、使用環境や設定状況により数値は異なります

※13 資源有効利用促進法に基づく、特定の化学物質の含有表示方法

主な仕様

種類	ハードディスク内蔵ブルーレイディスクレコーダー搭載液晶テレビ			
形名	LCD-46BHR400	LCD-40BHR400	LCD-32BHR400	LCD-26BHR400
画面サイズ	46V 型	40V 型	32V 型	26V 型
画面アスペクト比	16:9			
画素数 (パネル種類)	水平 1920×垂直 1080 (フルハイビジョン)		水平 1366×垂直 768 (ワイド XGA)	
受信チャンネル	VHF	1～12ch		
	UHF	13～62ch		
	ケーブル テレビ	C13～C63ch		
	地上デジタル	000～999ch		
	BS デジタル	000～999ch		
	110 度 CS デジタル	000～999ch		
電源	AC100V 50/60Hz			
内蔵スピーカー数	2			
音声実用最大出力 (JEITA)	10W+10W			
HDMI 入力端子	3 系統 3 端子			
ビデオ入力端子	3 系統 3 端子(内 2 系統の映像は S2 端子またはコンポジット)			
音声出力端子	1 系統 1 端子			
デジタル 光音声出力端子	1 系統 1 端子			
ヘッドホン端子	1 端子			
USB 端子	1			
i.LINK (TS 入力)端子	1			
SD カードスロット	1			
LAN 端子	1			
消費電力	未定(注)			
年間消費電力量 ^{※14}				
外形寸法				
質量				

(注) 消費電力、年間消費電力量、外形寸法、質量等については順次当社ホームページで公開します。

※14 年間消費電力量は「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づいて、型サイズや受信機の種類の別算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。トップランナー基準(目標年度：平成 24 年度)に基づく値を今後、記載します

<レコーダー部仕様>

ハードディスク容量		500GB	
メディアの種類	録画(メディアに直接)	HDD BD-RE ^{※15} BD-R ^{※16}	
	ダビング	デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組	BD-RE ^{※15} BD-R ^{※16} DVD-RW (VR方式) ^{※17} DVD-RW (AVCREC方式) ^{※17} DVD-R (VR方式) ^{※18} DVD-R (AVCREC方式) ^{※18}
		地上アナログ放送の番組、外部入力	HDD BD-RE ^{※15} BD-R ^{※16} DVD-RW (VR方式) ^{※17} DVD-RW (Video方式) ^{※17} DVD-R (VR方式) ^{※18} DVD-R (Video方式) ^{※18}
	再生	HDD BD-RE ^{※15} BD-R ^{※16} DVD-RW (VR方式) ^{※17} DVD-RW (AVCREC方式) ^{※17} DVD-RW (Video方式) ^{※17} DVD-R (VR方式) ^{※18} DVD-R (AVCREC方式) ^{※18} DVD-R (Video方式) ^{※18} BDビデオ ^{※19} DVDビデオ ^{※20} DVD-RAM ^{※21} 音楽用CD ^{※22} CD (JPEG) ^{※23} SD (JPEG) ^{※24} USB (JPEG) ^{※24} DVD (AVCHD) ^{※25} SD (AVCHD) ^{※26} USB (AVCHD) ^{※26}	
ハードディスク録画時間	DRモード	地上デジタルHD放送	約 63 時間
		BS デジタル HD 放送	約 45 時間
		BS デジタル SD 放送	約 90 時間
		AF モード	約 80 時間
		AN モード	約 126 時間
		AE(8倍)モード	約 360 時間
		XP モード	約 110 時間
		SP モード	約 222 時間
		LP モード	約 442 時間
	EP(8時間)モード	約 887 時間	
番組部分または CM 部分だけの再生 [オートカットi]		○	
見どころ再生(スポーツ/音楽)		○/○	

* 録画時間はおよその目安です

- ※15 BD-RE DL (2層) 50GB/BD-RE SL (1層) 25GB (Ver.2.1 準拠 高速記録 2倍速ディスクまで使用可)。
外部入力「1回だけ録画可能」番組は録画できません
- ※16 BD-R DL (2層) 50GB/BD-R SL (1層) 25GB (Ver.1.1、1.2、1.3 準拠 高速記録 6倍速ディスクまで使用可)。外部入力「1回だけ録画可能」番組は録画できません
- ※17 片面 4.7GB (Ver.1.1、1.2 準拠 高速記録 6倍速ディスクまで使用可)
- ※18 DVD-R (1層) 4.7GB/DVD-R DL (2層) 8.5GB (Ver.2.0、2.1 高速記録 16倍速ディスクまで使用可、Ver.3.0 高速記録 8倍速ディスクまで使用可)。DVD-R DL へのダビングは AVCREC 方式のみの対応となります
- ※19 リージョンコードに「A」が含まれるディスク
- ※20 リージョンコードに「2」や「ALL」が含まれるディスク
- ※21 両面 9.4GB/片面 4.7GB (Ver.2.0、2.1、2.2 対応)、他社レコーダーの VR 方式、AVCREC 方式で録画されて、カートリッジからディスクを取り出せるもの
- ※22 音楽用 CD (CD-DA)、音楽用 CD 形式で記録され、ファイナライズ済みの CD-RW/CD-R
- ※23 JPEG ファイルが記録された CD-RW/CD-R
- ※24 JPEG ファイルが記録された SDHC (4GB~32GB) /SD (8MB~2GB) /USB 機器
- ※25 AVCHD 方式で記録された DVD-RW、-R (ファイナライズ済みのもの) /DVD-RAM
- ※26 AVCHD 方式で記録された SDHC (4GB~32GB) /SD (8MB~2GB) /AVCHD 方式のビデオカメラ機器の USB 接続。本機では直接再生はできません。ハードディスクへダビングした後、再生できます

商標関連

1. 「アクトビラ」は株式会社アクトビラの登録商標です。
2. AVCHD はパナソニック株式会社およびソニー株式会社の商標です。
3. i.LINK はソニー株式会社の商標です。
4. 電子番組表は、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.が開発した「G ガイド」を採用しています。「G ガイド」は、Gemstar-TV Guide International, Inc.が知的財産権を保有する電子番組表(EPG)技術「G-GUIDE」をベースに株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド (IPG 社)がサービス開発し、BS-TBS (株式会社 BS-TBS) と提携して日本国内で運用する電子番組表(EPG)で、現在地上波アナログ/デジタル、BS アナログ/デジタル、110 度 CS デジタル放送すべてをカバーし、全国で展開しています。G ガイド、G - GUIDE、および G ガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。



5. HDMI、HDMI ロゴおよび High definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の商標または登録商標です。

製作担当工場

三菱電機株式会社 京都製作所 AV 営業統轄部 AV 企画課
〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所 1 番地
TEL : 075-958-3449

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機お客さま相談センター
フリーダイヤル 0120-139-365

* ニュースリリースに記載されている内容は、広報発表日時点の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。